

事例 水源涵養機能^{かん}の発揮に向けた複層林化の取組

北海道の胆振幌別川^{いぶりほろべつ}上流部に位置する熊の沢地区は、登別市の水源として重要な役割を果たしています。

後志森林管理署では、水源涵養機能^{かん}をより高度に発揮させるため、単層林から複層林への誘導を積極的に行っており、熊の沢国有林では、75年生程度の人工林を林齢の異なる複数段の林分へ誘導するため、帯状の複層伐^{しりべし}※と再造林を行っています。

引き続き、複層林として着実な整備に取り組み、水源涵養機能^{かん}が長期的かつ高度に発揮される森林づくりを進めることとしています。

(北海道森林管理局 後志森林管理署)



場所：北海道登別市^{のぼりべつし} 熊の沢国有林^{くま さわ}

説明：写真は、帯状の伐採及び再造林後の様子（左）、植栽15年後の様子（右）です。